

As of 2014年9月11日

本社住所	神奈川県横浜市緑区長津田町4259-3					
代表者	小路 弘行	設立	2006年11月2日	資本金	517,530	千円
経営理念	ペプチド模倣技術を用いて、治療困難といわれる病気の治療薬を研究・開発し、その病気に苦しむ人たちに一日も早く提供してゆく。					
業種分野	新規医薬品の研究開発					
連絡先	045-989-2290	HPアドレス等	http://www.prismbiolab.com/			

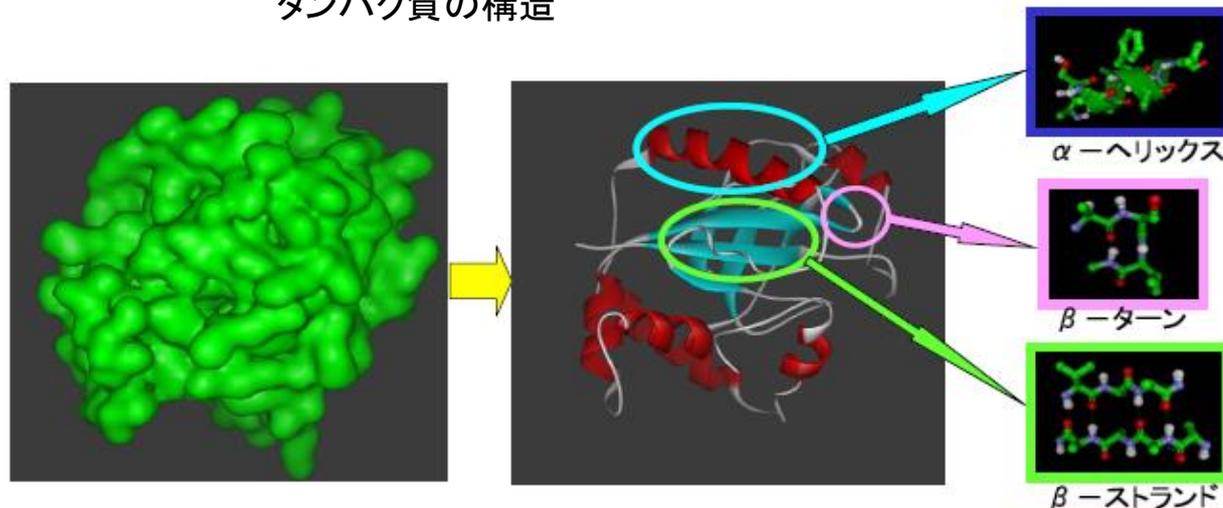
事業内容のご紹介

最近のゲノム情報解明による飛躍的な遺伝子レベルの研究進展により、数々の疾患の原因が解明されてきている。それらの中で、細胞内におけるタンパク質／タンパク質相互作用の異常が疾患の原因として、数多く見出されてきている。これらの異常を制御できれば、今まで治療が難しかった疾患の治療薬が創出できると考えられている。過去に大手製薬会社が、これらのタンパク質／タンパク質相互作用の異常をコントロールする化合物の開発に精力的に取り組んだにも関わらず、ほとんど成果が得られていない。

当社のコア技術であるペプチド模倣技術は、今まで困難とされていたタンパク質／タンパク質相互作用をコントロールすることの出来る技術である。この技術を用いて、今までに有用な化合物が見出されていないタンパク質／タンパク質相互作用を標的に研究開発を進めている。

当社のビジネス展開としては、現在得られている化合物を医薬品として仕上げ、臨床試験において人での効果が確認できた段階で製薬会社へのライセンスを考えている。最初の臨床開発化合物であるPRI-724は、既にエーザイ株式会社にガン分野のライセンスアウトを成功している。

タンパク質の構造



当社の技術は、タンパク質の構造の中でヘリックス構造を模倣した低分子化合物をたくさん作り出し、その中から医薬品として有用な化合物を見出すものである。

代表者メッセージ

今日に至るまで、ペプチド模倣技術は、医薬品開発の分野で成果を挙げてきたとは言い難い。しかし、我々は、この技術に10年以上の研究蓄積があり、現時点では、確かな技術の進展を感じている。これを生かして、今まで治療薬の無かった疾患の治療薬の開発を目標に日夜研究を進めています。